

平成24年度徳島大学総合科学部学部長裁量経費
総合科学部創生研究プロジェクト実践報告
「モラエスの庭—徳島の自然・人・心—」

宮崎隆義, 佐藤征弥, 境泉洋

徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1
E-mail: miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp

A Report of the Project Studies in 2012:
Moraes's Garden—Nature, People and Heart of Tokushima—

Takayoshi Miyazaki, Masaya Satoh, Motohiro Sakai

Institute of Socio-Arts and Sciences, The University of Tokushima
1-1 Minami Josanjima-cho, Tokushima, 770-8502, Japan
E-mail: miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp

Abstract

This report is a record of the activities in 2012 of Moraes's Studies Group launched on July 31, 2010. The members of Moraes's Studies Group, T. Miyazaki (English Literature), M. Satoh (Plant Physiology), M. Sakai (Clinical Psychology), all at the Institute of Socio-Arts and Sciences, The University of Tokushima, have been continuing to try to analyze Moraes's works and to approach a new facet of Moraes's biographical aspects, including the activities of organizing exhibitions and lectures on Moraes.

As the basic activities we organized and have been organizing regular meetings every month or every two months, reading Moraes's *O "Bon-odori,, em Tokushima* and *Ó-Yoné e Ko-Haru*.

Our activities are still going on and developing with the cooperation with other local groups in Tokushima and Kobe.

Key Words: Wenceslau de Moraes, *O "Bon-odori,, em Tokushima*, *Ó-Yoné e Ko-Haru*, Moraes's Studies

1. はじめに

本研究は、徳島大学総合科学部学部長裁量経費・平成 24 (2012) 年度総合科学部創生研究プロジェクトによる研究成果の一部である。

研究プロジェクト名は「モラエスの庭—徳島の自然・人・心—」であり、研究参加者は、大学院ソシオ・アート・アンド・サイエンス研究部の佐藤征弥 (植物生理学)、境泉洋 (臨床心理学)、宮崎隆義 (英文学、代表者) の 3 人で、いずれも平成 21 年度、22 年度、23 年度の、徳島大学大学院総合科学教育部博士課程前期での共通科目「プロジェクト研究 I」の担当者であった。

本研究論文の目的は、プロジェクトの遂行にあたっての基本的な活動の記録と同時に、活動の一環として開いている例会・読書会での成果をもとにして、モラエスの著作について新たな考察を加えることである。また、モラエスの顕彰の一部として、モラエスの展示会、講演会なども行なうこととして、活動した。平成 22 (2010) 年度については、モラエス研究会設立とその後の活動の記録を記し、さらに、例会・読書会で扱った『徳島の盆踊り』に関して、「モラエスの庭 —(1) 日記文学・随筆文学ということ —」(『地域科学研究』第 1 巻, 2011 年) を公刊した。その中では、モラエスが日本の日記文学、随筆文学に傾倒しながら、随想として『徳島の盆踊り』をポルトガルの『ポルト商報』に連載発表した経緯と、彼が随想にこだわった点について論考の形でまとめている。

また、このプロジェクトと関連し、大学院の共通科目「プロジェクト研究 I」での成果の一部として、同じく『地域科学研究』第 1 巻に、「『阿波名所図絵』における眉山の自然と景観」(佐藤征弥ほか, pp.15-27) を掲載した。さらに、『地域科学研究』第 2 巻には、「徳島公園(徳島中央公園)の造園設計について—一日比谷公園及びザイファースドルフ城との比較—」(佐藤征弥ほか, pp.42-54) を掲載している。

2. モラエス研究会—平成 24 年度の活動記録—

本研究プロジェクトは、平成 23 年度に引き続いて採択を認められたものであるが、平成 23 年度の計画を踏まえつつ、基本的な活動として、研究例会・読書会を毎月 1 回程度の目標で行うこととして、以下のよう

研究例会・読書会の実施状況 (平成 24 年度分)

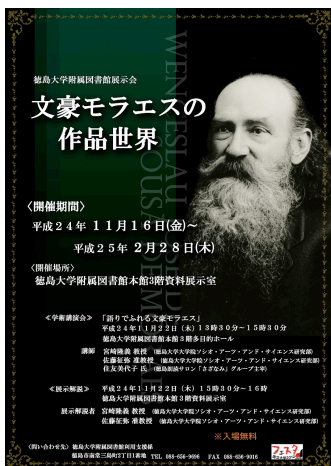
- ・平成 24 年 4 月 28 日 【研究会例会・読書会】
- ・平成 24 年 6 月 2 日 【研究会例会・読書会】
- ・平成 24 年 7 月 28 日 【研究会例会・読書会】
- ・平成 24 年 9 月 15 日 【研究会例会・読書会】
- ・平成 24 年 11 月 23 日 【研究会例会・読書会】
- ・平成 24 年 12 月 22 日 【研究会例会・読書会】
- ・平成 25 年 2 月 2 日 【研究会例会・読書会】
- ・平成 25 年 3 月 23 日 【研究会例会・読書会】

毎回の読書会では、平成 23 年 3 月まで題材として使用していたモラエスの『徳島の盆踊り』をいったん終わりとして、その後の 5 月より『おヨネとコハル』(岡村多希子訳, 彩流社, 1989 年) を題材として取り上げ継続している。例会・読書会では、これまでのように教員が作品中で気づいたことを提示して、参加者で議論しながら、地元の参加者たちの記憶にある昔の状況などを教示していただいた。

その研究成果として、論文としては「モラエスが見た蛩」(佐藤ほか)、「モラエスの庭—(2)「随想」の変質—」の 2 件を、報告としては「モラエスの庭—徳島の自然・人・心—」(宮崎ほか)を徳島大学総合科学部の研究紀要『地域科学研究』第 2 巻 (2012 年) に掲載した。

またこの研究計画に関連する事業として、日亜会館にあるギャラリー新蔵での展示「文豪モラエスの徳島」(2012 年 7 月 27 日～12 月 14 日)、同展示解説 (8 月 29 日, 9 月 5 日) を実施した。





また、2012年11月16日から2013年2月28日まで、徳島大学附属図書館との連携で、展示会「文豪モラエスの作品世界」を実施した。この展示会の期間中に、学術講演会として、より多くの人たちにモラエスの作品を知ってもらい味わってもらおうべく、「語りでふれる文豪モラエス」として、徳島朗読サロンを主催している住友美代子氏による朗読を実施し、佐藤征弥と宮崎隆義が解説を加えた。

聴衆を集めることができた。

さらにまた、総合科学部のホームページにリンクしているブログ (<http://d.hatena.ne.jp/iasmoraes/>) がきっかけで、慶應義塾大学の研究員である中村美代子氏の恩師ベルギー自由大学のジョゼ・モライス (José Morais) 教授がモラエスの遠縁の子孫であることがわかり、モラエス研究についての情報交換をおこなっているが、氏の知人からの資料提供並びにそのポルトガル語資料の英訳について、ポルトガルとの人的・文化交流ができつつある。また、モライス教授の徳島訪問が可能となり、さらに今後とも交流を深めてゆきたいと考えている。

平成24年3月17日に実施した神戸三宮調査資料見学ツアーでは、NPO法人神戸外国人居留地研究会とも交流会を持つことができ、その後も連絡体制を保持して情報を交換している。そして、2013年が、モラエスが神戸から徳島に移り住んで100周年にあたることを受けて、2013年7月に共同で記念行事を開催することとし、具体的な実施計画について協議を継続して行った。



さらに2012年12月7日には、かねてより交渉を重ねていた小説家藤原正彦氏による講演会「モラエス、父、私」を、徳島大学と徳島日本ポルトガル協会の共催によりあわぎんホールにおいて実施し、約700名の



モラエス徳島来住100周年記念行事
NPO法人神戸外国人居留地研究会
徳島大学総合科学部モラエス研究会
合同研究会
日時：2013年7月27日(土)

(午前部)
「モラエスゆかりの地見学」
神戸居留地研究会の方々と、モラエスゆかりの地を見学します。
10:30 阿波おどり会館前出発
昼食は「おんぼろ」で食卓を囲みます。
(申し込み必須、移動にかかる交通費と昼食代1500円程度が必要です。)

(午後部)
「研究発表会」
総合科学部1号館南棟
3階 第1会議室
13:30 研究発表1
神木真実氏(神戸居留地研究会、神戸大学名誉教授):
「モラエスの業績と、その影響 - 私の感想 -」
14:30 休憩 中内隆幸氏(神戸大学)
14:45 研究発表2
近藤文子氏(徳島日本ポルトガル協会、神戸居留地研究会):
「E. J. de S. Moraes の5.180日」
17:00 懇談会(場所:徳島大学生協食堂)
(申し込み必須、懇談会費4000円程度。)



徳島大学総合科学部モラエス研究会 宮崎隆義(代) 神戸三宮 徳島山崎三丁目 徳島大学総合科学部 電話・FAX: 088-656-7131

